

べっぴん 市議会だより

No.168
2023.11.1

多様性のまちとして誰もが安心して暮らせるまち



南立石公園

CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5 予算決算特別委員会（令和4年度決算認定審査）意見書
- P 6～11 一般質問（16名が市政を問う）
- P 12 編集後記 ほか



令和5年第3回定例会で38の議案を可決!

9月1日から9月26日までの26日間にわたり開催された今定例会では、予算関係6件、条例関係4件、決算関係9件、その他4件の議案が上程されました。

また、定例会最終日に市長より、追加議案として、人事案件11件、その他1件さらに議会より、議員提出議案3件が上程されました。

市長提案理由では、令和6年4月診療分より、市内在住高校生等の入院、通院等に係る医療費の助成対象を拡大することに伴う、システム改修費等の経費及び楠銀天街の再生に向けた取り組みを

推進するため、アーケードの撤去と道路整備のための経費等の説明があり、「子ども医療助成に要する経費」、「南部振興に要する経費」等の関連議案については、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、一部議員から反対する旨の意思表示があり、そのうち議員提出議案1件、及び6月定例会にて、継続審査とされた請願1件については、否決（不採択）されました。その他の議案については、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

～主な議案の概要～

●別府市一般会計補正予算(第6号)

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

子ども医療助成に要する経費…………… 890万円

令和6年4月診療分より、市内在住高校生等の入院、通院等に係る医療費の一部助成を行うため、システム改修等を行います。

南部振興に要する経費…………… 9,010万円(債務負担行為7,802万円)

地域が主体となった南部の新しいまちづくりを支援するため、楠銀天街のアーケードの撤去や道路整備を実施します。

地区公民館施設整備に要する経費…………… 2,408万円

中央公民館・市民会館に要する経費…………… 4,753万円

誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、各地区公民館及び中央公民館・市民会館の改修を行います。

●請願

Park-PFI事業「上人ヶ浜公園整備運営事業」に関する請願

6月定例会の最終日に本請願は、継続審査となり、9月定例会にて再度、所管委員会である観光建設水道委員会で審査を行いました。上人ヶ浜公園整備運営事業は、事業計画確定後も詳細設計ができてから内容が確定する部分があるため、今後も事業の進捗状況を適宜議会へ報告すること等の意見を付し、委員会で不採択とすべきものと決定し、定例会最終日の採決の結果、賛成少数で不採択となりました。



第3回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第76号	令和5年度別府市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)	議第96号	令和4年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
議第77号	令和5年度別府市一般会計補正予算(第6号)		議第97号	令和4年度別府市水道事業会計決算の認定について	
議第78号	令和5年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		議第98号	令和4年度別府市公共下水道事業会計決算の認定について	
議第79号	令和5年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第2号)		議第99号	議決事項の変更について	可決 (全会一致)
議第80号	令和5年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第100号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	同意 (全会一致)
議第81号	令和5年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		議第101号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第82号	別府市税条例の一部改正について		議第102号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議第83号	別府市使用料の徴収に関する条例等の一部改正について		議第103号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議第84号	別府市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について		議第104号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議第85号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第105号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
議第86号	工事請負契約の締結について		議第106号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第87号	工事請負契約の締結について		議第107号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第88号	工事請負契約の締結について		議第108号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第89号	和解及び損害賠償の額の決定について		議第109号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第90号	令和4年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について		議第110号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第91号	令和4年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議員提出議案第9号	下水サーベイランス事業の実施を求める意見書	原案可決 (全会一致)	
議第92号	令和4年度別府市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議員提出議案第10号	地方財政の充実・強化に関する意見書		
議第93号	令和4年度別府市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議員提出議案第11号	現行の健康保険証を廃止しないで引き続き使えることを求める意見書	否決 (賛成少数)	
議第94号	令和4年度別府市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	請願第1号	Park-PFI事業「上人ヶ浜公園整備運営事業」に関する請願	不採択 (賛成少数)	
議第95号	令和4年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		議員派遣の件について	原案可決 (全会一致)	

賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																							
			自民新公会								公明党				市民クラブ		創世会		ビーワンパッパ		改進黨	新たな別府会	日本共産党	の創る未来	日本維新	有志の会
			8人	4人	3人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人				
			山本	松川	松川	吉富	小野	安部	阿部	日名	市原	穴井	小野	重松	加藤	森山	三野	黒口	森野	小泉	森大	美恭	中村	石田	塩手	
議第90号	令和4年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
議第91号	令和4年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議第95号	令和4年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議員提出議案第11号	現行の健康保険証を廃止しないで引き続き使えることを求める意見書	否決(賛成少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
請願第1号	Park-PFI事業「上人ヶ浜公園整備運営事業」に関する請願	不採択(賛成少数)	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」（採決に加わらない為）、法律により採決に加われない議案は「除」



(可決された意見書の詳細についてはHPにて掲載しています。)

議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和5年度各会計補正予算や条例などの議案に対し5名の議員が質疑を行いました。そのうち主な議案質疑を掲載します。

議第77号 令和5年度別府市一般会計補正予算(第6号)

【子ども医療助成に要する経費】

問 今回の医療に係る助成対象が拡大するための予算についてだが、助成対象等、具体的にどのような内容か。

答 令和6年4月1日から市内に在住の高校生等まで助成対象を拡大するものです。具体的には、入院費、調剤費は無料となり、通院費については1か月当たり1医療機関につき、4日目までは1日当たり500円の自己負担とします。5日目以降は、無料となります。所得制限等の制限は設けておりません。

【南部振興に要する経費】

問 楠銀天街のアーケードについて、今回、公金を投入し撤去する経緯は。

答 南部ひとまもり・まちまもり協議会が持続可能なまちづくりを進めていくことを示していただき、国の補助金の目途が立ったことから、危険な状態を改善し、新たなまちづくりを支援するため今回、市が行うとの判断をしました。

問 今回の事例がきっかけとなり、放置しておけば市がやってくれるというふうにならないか。

答 所有者が適正に維持管理していただく責務があります。早い段階で指導等を行い、適正な管理に努めていただくよう取り組んでいきます。



(議案質疑の詳細はHPにて掲載しています。)

常任委員会審査

会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

● 総務企画消防委員会

一時避難所に指定されている内竈コミュニティセンターのトイレを多目的トイレに改修するため、施設整備工事費1,796万円を計上している旨の説明に対し、委員から内竈コミュニティセンターだけではなく、他の公共施設のバリアフリー化をどのように進めていくかという質疑があり、当局から計画的に進めていく必要があるとの説明がありました。また、工期についての質疑があり、当局より3か月を予定しており、指定管理者と協議を行いながら進めていくとの説明がありました。

● 観光建設水道委員会

継続審査となっていた『請願第1号 Park-PFI事業「上人ヶ浜公園整備運営事業」に関する請願』では、委員から自然環境の配慮について質疑があり、当局より公園管理者として今後も管理に携わり、緑の総量確保に努める等の答弁がありました。採決の結果、不採択とすべきものと決定し、事業計画確定後も詳細設計ができてから内容が確定する部分があることから、今後も事業の進捗状況を適宜議会へ報告するとともに市民等への情報提供を丁寧に行うよう努めることの意見が付けられました。

● 厚生環境教育委員会

別府市総合体育館の改修工事に係る「工事請負契約の締結について」では、入札不調や随意契約の理由について質疑があり、当局から、大規模かつ高難易度の工事のため、九州に本店支店のある事業者を代表とする共同企業体での参加を要件としたが、技術者の配置が困難で入札不調となったこと、改修期間後に大会が予定され、再入札の時間がなかったこと等の理由により、現場に精通し、工事を安全かつ適切に履行した実績がある事業者(当時の元請共同企業体の構成員)と随意契約を締結した旨の答弁がありました。

令和5年予算決算特別委員会(令和4年度決算認定審査)意見書

予算審議と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、次年度の当初予算編成に反映するよう、意見書を執行部に提出しました。

1. 地方債残高及び公債費について 令和8年に完成を迎える新図書館整備事業やこれまでの大型事業実施の影響により、令和4年度に公債費がピークを迎えたが、令和6年度には地方債残高も一時的なピークを迎える。今後も、地方債発行の際には、交付税措置のある有利な地方債発行を優先的に行うなど、財政運営に支障が生じることがないように努めることを求める。

2. 補助金の必要性及び費用対効果の検証 補助金の交付にあたっては、公益性・公平性の確保、十分な審査と効果検証を実施する必要がある。必要最低限の予算執行や補助金の透明性の確保に努めるとともに、補助事業完了後には、実施報告及び補助金等成果報告書等により、費用対効果の検証を十分に行うことを求める。

3. 民生費と政策予算執行の適正化について

令和4年度の民生費は、前年度(令和3年度)と比較して、9億4千万円減少し、296億1千万円となっている。内訳として、障害者自立支援給付費及び障害児童通所支援費は増加、生活保護費は減少となっている。これは、コロナ禍での医療受診の控えや国からの特別給付金、緊急小口融資等の支援利用が広まったことが民生費減少の主な要因となっている。加えて、前年度(令和3年度)に実施した住民税非課税世帯臨時給付金が16億3千万円減少したことも影響している。この数年、コロナ禍という特異な状況ではあったが、今後も加速する少子化・高齢化により、民生費の占める割合は増加が見込まれ、市の財政運営にも大きく影響することが予想される。執行部においては、国や県と連携を深め、少子化対策(子育て支援)や健康寿命の延伸(健康増進)等の施策に積極的に取り組むとともに、将来を見据え、世代を超えて、市民一人ひとりが幸せを実感できる、適正かつ効果的な予算執行を行うことを求める。

4. 入湯税超過課税の用途について 入湯税の引上げ部分は、温泉資源の保護、別府観光推進のために効果的な使用を行うことが必要である。事業実施後は、別府市入湯税の超過課税分の用途に関する審議会での評価等を公表し、超過課税分の用途の透明性を図るとともに、観光振興が市民福祉の増進につながるよう、さらなる好循環を生む仕組み作りに取り組むことを求める。

5. 健康増進政策の推進 高齢化社会となり社会保障等が財政を圧迫する中で、いかに平均寿命と健康寿命の差を短縮するかが課題となっている。健康増進政策による健康寿命の延伸は必須項目であることから、今後も、みんなで健活ポイント事業等の広報にしっかりと取り組み、多くの市民の利用による健康の増進、地域コミュニティの醸成を目指し、社会保障費等の増大に歯止めをかけるよう努めることを求める。

6. 人材の確保等について 介護職における人材の確保・育成支援は、市の喫緊の課題である。介護職の人材確保及び育成の支援は、全国的にも珍しく重要な事業であることから、今後も広く周知するとともに、さらなる支援の充実に努めることを求める。また、学校現場において、児童、生徒を取り巻く環境は、近年ますます複雑・多様化しており、スクールソーシャルワーカーに求められる役割も大きなものとなっており、専門職の必要性も増加しているものと考えている。よって、その必要性を鑑み、教育現場を支援するため、正規専門職の充実を図ることを求める。

7. 戦略的施策への取組について 令和4年度の固定資産税は、前年度(令和3年度)と比較して、5億円の増加となっており、ホテルを含む新築家屋等の増加とコロナ特例措置の終了に伴うものである。固定資産税は、地方税の重要な基幹税収と考える。よって、固定資産税の確保には、ホテル建設に代表される民間企業の投資や新築家屋の個人投資が増えることが必要であり、魅力ある街づくりを進めていくことで、別府市の市場価値を高めることを求める。また、宇宙産業等を代表とした、発展性と可能性のある先進的な施策については、状況を分析し、他都市に遅れを取ることなく、積極的な事業推進を図ることを求める。

【最後に】 最後に、各事務事業を行うにあたっては、事業内容の精査・費用対効果の検証を十分に行い、本意見書及び委員会での意見を令和6年度の当初予算編成に反映することを要望するとともに、予算審議と決算審査の循環性を図るため、令和6年(令和5年度決算認定審査)予算決算特別委員会において、その取り組みについての回答を求める。



一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。9月議会では16名の議員が市当局の見解をたしました。主な内容は次のとおりです。

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継にアクセスができます

自民新公会

あべ いちろう
安部 一郎 議員



「上人ヶ浜公園」について

問 上人ヶ浜公園の開発は、宿泊施設によって公園の一般利用者が自由に歩けないのではないか。実施されるParK-PFI事業での立ち入り禁止区域と占有面積は。

答 今後の実施設計で明らかになります。

問 多目的グラウンドの使用時間及び維持管理者は。

答 利用時間については、これから設定します。維持管理は事業者が行います。

問 駐車場は、事業関係者、宿泊者、ショップ・テナント従業員、砂湯等のお客様、そして市民全て無料という事だが、市民の駐車場は確保できているのか。利用時間は7時から22時と説明していたが朝日は見られないのか。

答 駐車場において来園者及び事業者は、無料です。時間制限については、事業者と協議の上、設定をします。

問 工事や施設設置による根固めの影響で、樹木が枯れるおそれがある。どのような対策を行うのか。

答 樹木の根をなるべく傷つけないような工法を事業者と協議を行います。

問 ほとんどのことが決まっていない現在の公園整備計画は市民、特に地域住民にとってどの部分が、今より良くなっていくのか分からない。これからは、市民や地域住民により丁寧に説明する必要があるのでは。

答 今後も丁寧な説明に努めてまいります。

公明党

しげまつ やすひろ
重松 康宏 議員



「投票しやすい環境づくり」について

問 近年、期日前投票の割合が増加してお

り、4月に行われた別府市議会議員選挙では、投票した人のうち4割以上が期日前投票を利用している。今後、その割合はさらに高くなると予想されることから、現在2ヶ所ある期日前投票所を増設すべきでは。

答 期日前投票所の増設は、有権者の利便性の向上、投票の機会創出の有効な手段と考えております。また、様々な課題を検証してまいります。

問 高齢者の方や障がい者の方などが、スムーズに投票できるように、投票用紙への代筆や候補者名の読み上げなど、投票所で係員に手伝ってほしい項目にチェックを入れ、投票しやすくする「選挙支援カード」、イラストや文字を指さすことで困っていることを伝える「コミュニケーションボード」を導入していただきたいと思うが。

答 高齢者や障がい者の方などが安心して投票していただけるよう、先進自治体の事例や方法を参考に、調査研究をしてまいります。

新たな別府を創る会

もり だいすけ
森 大輔 議員



「地方創生事業の成果と効果」について

問 私たちが直面している最大の課題は、人口減少や少子高齢化に伴う就労人口の減少や地域経済の縮小である。この課題を解決するために、別府市は2016年から2023年の8年間で約683億円を使い、人口減少に歯止めをかけ、地域経済を元気にすることを目的とした地方創生事業を行ってきた。この事業の成果や効果がどのように反映されてきたのか。まず、別府市民の平均所得と大分県内の別府市の順位、県の平均は。

答 令和元年度の市町村民経済計算では、別府市の市民一人当たりの市民所得額は232万6,000円で県下14市中10位です。県平均は、269万6,000円となります。

問 個人市民税、法人市民税及び固定資産税の一人当たりの税収について、別府市と類似団体の税収はそれぞれどのようなになっているか。

答 ▶ 令和3年度における市民一人当たりの個人市民税では、本市は4万1,821円、類似団体が5万6,622円。法人市民税では、本市は5,811円、類似団体が8,385円。固定資産税では、本市は5万779円、類似団体が6万3,295円です。

問 ▶ ここ8年間の人口の推移は。

答 ▶ 別府市の人口は減少傾向にあり、平成27年国勢調査の人口では、12万2,138人でしたが、令和5年8月1日の推計人口は11万3,200人となっています。

問 ▶ 別府市の合計特殊出生率と大分県の平均及び別府市の県内での順位は。

答 ▶ 別府市の合計特殊出生率は1.24で、大分県平均は1.55です。別府市は県内で一番低い率となっています。

ビーワンべっぴん

おの かずみ
小野 和美 議員



「病児保育・夜間保育施設」について

問 ▶ 子どもが病気または回復期で親が休めない時に利用する病児・病後児保育施設について、別府市の現状と多発しているキャンセル待ちに対する取り組みについてどのように考えているか。

答 ▶ 令和5年度から、新たに市内2ヶ所で実施することとなり、1ヶ所目は令和5年6月に開設し、2ヶ所目は11月開設予定です。また、今年度から委託施設がICTの予約システムを導入したことで、これまで見えていなかったキャンセル待ち件数等の潜在ニーズを把握できるようになりました。今後も実情を把握し、適切な病児保育の提供に努めてまいります。

問 ▶ 共働きやひとり親家庭等、多様化する働き方に対応するべく、夜間保育園を導入する必要がある。現在、市内では夜10時まで対応する認可の夜間保育園は0件、夜間保育に対応している認可外保育園は2件のみである。夜間保育の必要性や、今後についてどのように考えているのか。

答 ▶ 夜10時以降の預け先の問い合わせに、認可外保育園を紹介することがありますので、一定のニーズがあることは承知しています。子どもを預ける保護者の気持ちに寄り添ったサービスを提供することができるよう努めたいと考えています。

ビーワンべっぴん

もり ゆうじ
森 裕二 議員



「別府市の医療機関の現状」について

問 ▶ 別府市の医療機関は充実しているが、診療科別に偏りがある。特に、産科不足は深刻である。市内で産婦人科を開業すれば、補助金を出すなどの対応策はできないのか。

答 ▶ 産科医療機関の減少は全国的な問題です。大分県でも、産科医師等の処遇改善を目的に分娩業務に従事した際の手当てを支給する産科医師等確保支援事業や、産科を専攻するためのインセンティブとして、研修資金の貸与を行うなど産科医師確保の対策に乗り出しており、広域的な対応が必要ですので、大分県や東部圏域で連携していきたいと考えています。

問 ▶ 別府市において一次救急は、別府市医師会による休日当番医となっており、輪番制の維持が難しいようだが現状は。

答 ▶ 休日当番医は別府市医師会に委託し運営を行っていますが、昨今の医師の高齢化や看護師不足、働き方改革等で自医院での運営が困難になっていることから、輪番制を維持することが困難になっています。

問 ▶ 休日当番医に手を挙げると、多くのスタッフが休日に出勤しなければいけないことが輪番制の維持ができなくなっている要因である。この際、センター化にしてはどうか。

答 ▶ 医師会とは、休日診療を行う場所として、別府市保健センターについて協議をしていきたいと考えています。

日本維新の会

いしだ つよし
石田 強 議員



「フリースクール」について

問 ▶ 現在、別府市における不登校児童生徒数は。

答 ▶ 令和3年度の別府市における不登校児童生徒数は、小学校で58人、中学校で157人、計215人でした。

問 ▶ フリースクールは、国や大分県からの補助がほとんどないため、保護者の経済的負担が大きい。それを理由にフリースクールを利用しようにもできない家庭もあるのではないのか。補助が少しでもあれば、フリースクールを学びの場とすることができる子どもが増え

ると考える。教育委員会の見解は。

答 別府市では現在、不登校児童生徒の学びの場や居場所の設置を推進しているところですが、フリースクール等の民間教育施設の運営に対する教育行政の関わりにつきましては、検討する必要があると考えています。フリースクール利用者またはその保護者の経済的な負担を軽減している自治体の取組等を参考に保護者の負担を軽減する方策について、今後も検討を進めてまいりたいと考えます。

日本共産党

みま きょうこ
美馬 恭子 議員



「扇山地域の高齢者の移動手段の確保」について

問 「扇山ふる里まつり」で行われたコミュニティバスの試乗会について、今回の経緯や今後どのように移動手段確保に取り組んでいくのか。

答 扇山地区は、既存のバス停留所から離れた公共交通不便地域に該当しています。地域課題の解決への仕組みづくりとして、本年1月に当該地域の70歳以上約1,500名を対象に意識調査を実施し、自治会が主体となる、福祉バス実施に向けて協議を行いました。その結果、タクシー事業者の協力を得て、グリーンスローモビリティ活用の試乗会を実施しました。乗車された方からは、想定以上に好評を得ることができました。

問 ひとまもり・まちまもり協議会の中でも地域交通の課題等が挙がっていると思うが、各協議会との間で意見交換の場はあるのか。

答 全協議会が参加して毎年連携会議を開催しています。また、年度当初の事業説明会の際や、定期的に開催している会長会議において、情報共有や意見交換を行っています。様々な関係者が関わり、地域の活性化やまちの将来像を共有し、「自らのまちを自らよくする」という意識の醸成を図っていくことが重要であると考えています。

問 扇山地区にも数多くある私道の管理について、どのように考えているのか。

答 私道については一律な対応はできませんが、寄付や管理方法等については、個別に相談等いただければと思います。

自民新公会

まつ かわ しょう ぞう
松川 章三 議員



「別府市の農業」について

問 市内の耕作面積はいくらか。

答 耕作面積は341ヘクタールです。

問 所有者不明農地はどのくらいか。

答 所有者不明農地は102ヘクタールです。

問 所有者不明農地を活用するには、どのような手続きが必要か。

答 今年度、改正農地中間管理事業推進法が施行され、簡易な手続きで農地を地域の担い手へ貸し出すことができるようになりました。

問 改正され簡素化したことは、農地を守り、農業生産力を高めるうえで非常にいいことだ。では、別府市の食料自給力はどの位あるのか。

答 農地面積の減少と農業労働力の減少で、昨年度、国が公表した過去最低の指標よりもさらに低いことが分かりました。

問 食料自給力は食料自給率と違い、海外から食料輸入ができなくなった場合、国内で食料がどれだけ供給できるかである。日本人1人につき必要な熱量は2,168kcalに対し、米・小麦の場合の1人当たりの供給熱量は1,720kcalであり、448kcal不足している。日本は食料輸入が出来なくなれば、飢えてしまう。別府市の地産地消推進の取り組みは。

答 農業者と宿泊・飲食事業者を結びつける仕組みの構築や、新商品の開発を行うことで、農産物の高付加価値化を促進し、収益性の高い農業を推進してまいります。

創る未来の会

なか むら さとる
中村 悟 議員



「多様性の対応と給食共同調理場」について

問 パートナーシップ制度とは、自治体が独自にLGBTQカップルに対して証明書を発行し、サービスや社会的配慮を受けやすくする制度である。大分県では、日田市、臼杵市、竹田市、豊後高田市、豊後大野市、大分市が既に導入をしている。今後、別府市でも導入するのか。

答 パートナーシップ制度の利用者がどこの地域でも同様のサービスが受けられるよう、

広域的な制度導入が望ましいと考えています。性的少数者に関する市民の理解促進を図りながら、今後も大分県等の動向を注視していきたいと考えています。

問 給食センターが稼働した。味や量の感じ方は人それぞれだが、味が薄いと聞く。子どもが美味しいと感じる工夫はできないか。

答 現代の食習慣は味付けが濃い傾向にあり、子どもの生活習慣病も問題視されています。学校給食は、成長過程での健康な体を作るため、文部科学省の学校給食摂取基準に基づいて塩分や脂質を調節し、出汁や香辛料を用いる工夫をして、薄味でも美味しく栄養バランスの整った献立を提供しています。

同性カップルにも幸せな未来の形、選択肢を得る権利があると思います。別府市でも導入を進めていただきたいと思います。

行財政改革クラブ

いずみ たけひろ
泉 武弘 議員



「どうする帯状疱疹対策と人工知能対応」について

問 コロナで免疫力が低下し、帯状疱疹患者が増加している。発症すると、多額の治療費を要し、後遺症で神経痛などが残る。帯状疱疹予防ワクチン接種に補助金を出しては。

答 できるだけ市民の皆さまに寄り添って早めの対応をしていきたいと考えています。

問 人工知能（AI）という新しい技術は、人間の知的活動の中で1番大事な言語機能や思考力に影響を与える。発達段階の子どもの教育に人工知能を導入するのは慎重にすべきと思うが。

答 子どもたちがうまく活用するために、情報モラル、情報活用能力等について指導することが必要だと考えています。

問 人工知能を教育現場や家庭で使えば混乱が生じる。特に対話型人工知能には問題があり、人工知能が子どもの意見や考えに同意や肯定すると、自分の考えは正しいと思い込み陥る可能性があり、人工知能は神の声になる。教育現場では、教科書の内容を学ぶ以上に、教師からの人間的な影響や、人と人との触れ合いが大切である。人工知能に対する危機管理体制ができていない段階で導入すれば大変な事態になる。危機管理体制について専門家等を交えた専門部会を設置すべきだと思うが。

答 教育部内で検討をさせていただきます。

問 人工知能の情報の真偽や根拠の判断が難

しい。人工知能開発者からも気候変動よりも緊急の脅威を人類にもたらすと警告している。AI人材育成を優先すべきでは。

答 子どもたちには多くのリスクがあると考えています。関係課と連携を取っていきたいと考えています。

公明党

おの けいこ
小野 佳子 議員



「産後ドゥーラ」について

問 産後ドゥーラは、自宅に訪問して妊娠中から出産後の母親の気持ちに寄り添い、心身の安定と産後の身体の回復や育児を軌道に乗せる為のサポートを行う。別府市でも今後の訪問型の子育て支援として、産後ドゥーラの活用をするべきでは。

答 別府市では、今年度より訪問支援員が子育て世帯などを訪れて家事・育児支援を行う子育て世帯訪問支援事業を開始しました。国が定める訪問支援員の要件等を満たしていれば、この事業の委託先として、産後ドゥーラを活用することは可能と考えています。

問 一般社団法人ドゥーラ協会が民間資格として立ちあげたもので、助産師をメインに看護系教授、管理栄養士や専門家による全75時間の養成講座を受講し、試験、面接に合格した後に認定を受ける。2022年1月時点では、全国で630名が資格を取得しており、大分県には1名、別府市にお住いの方が資格を持っている。子育て世帯訪問支援事業は、支援が必要と認められる妊産婦や子どものいる家庭が対象だが、対象とならない家庭への産後ドゥーラの紹介等は可能か。

答 相談のあった家庭のニーズにあわせ紹介を行う民間の子育て支援サービスの一環として、産後ドゥーラを紹介することは可能です。

市民クラブ

もり やま よし はる
森山 義治 議員



「外国人相談窓口の設置」について

問 別府市は国際観光温泉文化都市であり、留学生をはじめ、8月14日現在、市民課に登録されている外国人住民数は、4,619人である。そのような外国人が、生活困窮や健康相

談など、様々な相談をしたい時にホームページで別府市外国人相談窓口を検索すると、大分県外国人総合相談センターのみが紹介されるが、まずは別府市内での就労者数を知りたい。

答▶ 令和4年10月末現在、ハローワーク別府へ届出があったのは、別府市を含む東部地域3市1町1村の2,219名で、そのうち留学生は1,112名です。

問▶ これまでの相談件数とその内容は。

答▶ 平成26年度から3年間、地方創生先行型事業として、相談窓口を文化国際課に設置しましたが、行政手続きを除くと毎年10件未満であったため、平成29年度からはその業務を語学担当の会計年度任用職員が引き継いでいます。

問▶ 相談窓口があることをホームページに掲載していただきたい。また、ウクライナ避難民や今後、増加が予測される外国人労働者の方々のためにも、多文化共生社会の実現に向け、平成31年2月に法制定された外国人受入環境整備交付金を活用し、NPO法人等に委託した相談窓口の設置はいかがか。

答▶ 窓口の設置について、大分県の相談センターもあることから、別府市としては調査、研究を行ってまいります。

公明党
いち はら たか お
市原 隆生 議員



「介護を支える「人」」について

問▶ 介護職の不足について、処遇改善が大きく前進しない限り市独自の解決は難しい。

しかし、介護サービス利用者を減らす介護予防や、介護職をサポートするボランティアの参加を広く市民に呼びかけ、多くの方に関わっていただくことが必要だと思う。あと数年で団塊の世代の方々が後期高齢者となってくる現状で、今後ますます介護の現場が大変になってくることが予想される。第一線から退いた方で、「元気なうちには何かのお役に立ちたい」との声もある。高齢化がさらに進む時代に、介護については、全ての市民が関心を持ち、できるところに参加していただける仕組みを早く作り上げるべきだと思うが。

答▶ 介護予防によって、将来の利用者を減らす取り組みに留まらず、ボランティアの方の参画により、介護職の方の時間を多様なサービスへ振り分けられるようになるなど、将来の高齢者だけでなく、現在の高齢者にとっても有益と思われるので、介護人材不足対応の施策として有効性を感じます。関係各課、

社会福祉協議会等の関係機関とも連携し、研究していきたいと思えます。

有志の会
しお て ゆう た
塩手 悠太 議員



「人口減少に伴う諸課題」について

問▶ 別府市の羅針盤である、総合計画と総合戦略で想定される人口目標は、2020年時点で達成されておらず、想定を下回っている。現実的に人口減少は進行し、高確率で10万人を切り、少ない人口で市政運営を行っていかねばいけないのは明白である。少ない人口でも市民の満足感を維持、向上できるまちづくり等について議論を行うべきだと思うが、別府市の見解は。

答▶ 人口減少が進行した場合の計画策定は、現計画で取り組んでいる協働による持続可能な地域づくりや、行政運営のデジタルファースト推進等の効果、検証を行いながら考えていきたいと思えます。

問▶ 人材は資源ではなく資本。成熟した日本社会にとって、箱物にお金を使う時代は過ぎ去り、これからは人に投資をし、人を育て、人の可能性や価値を引き出すというスタイルに変化していくべきだと思うが市の見解は。

答▶ 公共施設サービスを提供するいわゆる箱物に対し適正水準を維持した投資を行うことは、住民福祉向上のため必要です。人こそが最も重要で貴重な資源だと認識し、人を守り、人を活かすことを第一に考え、このまちの未来に新しい価値を創造することを基本方針としています。

問▶ 外国人人材についての見解は。

答▶ 留学生の皆さんに、大学卒業後も別府市との関係を続けてもらえるよう、起業等を含めた支援に努めてまいります。

公明党
あな い こう じ
穴井 宏二 議員



「消防用ドローンの活用」について

問▶ 小型無人機（ドローン）の飛行許可申請件数は、年々増加の一途をたどっている。近年の大規模災害などでは、被害状況の確認など災害時の活用事例があるが、ドローンの導入状況は。

答▶ 大分県内では、14消防本部中、8消防本

部がすでに導入・運用している状況です。

問 ドローンの火災現場での活用について見解は。

答 導入している消防本部の事例などから、火災現場での活用においては、林野火災は延焼範囲を把握しにくく、ドローンを活用することで隊員が急斜面を駆け上がったたり、谷を降りながら確認する情報収集の時間が短縮されます。市街地では、火災の残火処理や原因調査など容易に街区の撮影ができるため、調査業務にも活用できます。

問 別府市消防本部でのドローンの今後の導入についての見解は。

答 ドローンを導入することで、全体像を情報収集することができ、災害現場では早期に指揮方針の決定が行われ、迅速な活動につながります。また、人命救助の場面でも、熱画像装置による要救助者の発見や活動隊員の現場での安全性の向上につながるため有益であると考えます。今年度、ドローンの操縦士の養成を予定しているところですが、早期のドローン導入に向け、引き続き、関係各課と調整し取り組んでまいります。

自民新公会

あべ しんいち
阿部 真一 議員



「郷土教育の取組」について

問 郷土教育として、別府学に取り組んでいる。この目的は、郷土別府に対する誇りや愛着を感じるための素地を培うとともに、自らまちづくりを担おうとする心を育むことと、承知している。各学校においてはどのように取り組んでいるのか。

答 教育課程に位置付け、全学年年間5時間以上実施することとしています。総合的な学習の時間や各教科等において、学習資料等を活用した学び、体験学習や調べ学習、地域のフィールドワークへの参加などがあります。

また、地域や学校の歴史について話をしてもらうなど地域の方と関わりながら学習を進めている学校もあります。

問 別府学の地域への周知は。

答 社会教育課の講座等を地域、学校、保護者等に紹介してまいります。

問 社会教育課等には、別府学の理念に関わる企画が多くある。今後、学校現場でも子どもたちに伝統、歴史を周知していくうえで、教職員を含め、発展的に取り組む時期だと思う。教育委員会の見解は。

答 社会教育課では、別府の温泉、歴史、伝統文化などについて学び、様々な視点からふ

るさと別府をより深く知っていただくため、湯けむり歴史講座や湯のまち学びのカレッジを開催しています。今後も引き続き、温泉、歴史、伝統、文化とそれに関わる人々の工夫や努力を学ぶ機会を、学校現場に提供できるよう努めてまいります。

請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお問合せください。

なお、令和5年第4回定例会の請願の受付期限は11月22日(水)17時までです。

議会改革推進研究会

改選後、次の役員構成で設置されました。

【所管事項】

別府市議会が抱える懸案事項等の諸課題の解決、改善を図ることを目的に議会改革を調査、検討する研究会を設置して協議を進めようとするものです。

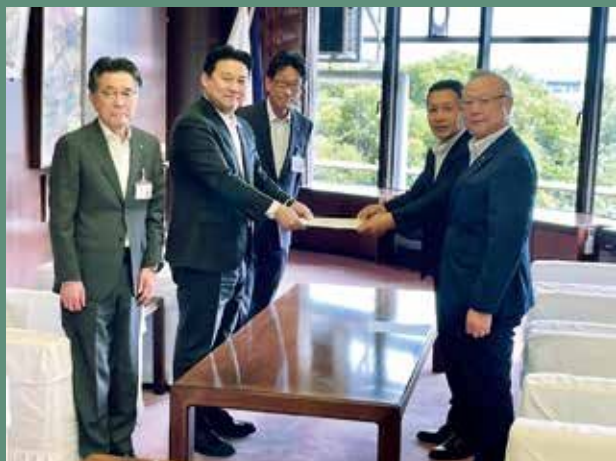
【役員名】

会 長 阿部 真一

副会長 重松 康宏

会 員 (議席順)
森 裕二
美馬 恭子
森山 義治
吉富英三郎
野口 哲男

市長へ意見書を提出しました



長野市長、阿部副市長、岩田副市長に意見書を提出する加藤議長、吉富委員長

予算決算特別委員会では、当初予算審議と決算認定審査の循環性を図るため、委員会においてとりまとめを行った改善提案等を本委員会の意見書として市長に提出し、令和6年度の当初予算編成に反映することを要望しました。

また、次回の委員会において、その取り組みについての回答を提出するよう求めました。

令和5年 第4回市議会定例会 会期日程(予定)

- 12月5日 議案上程
- 8日 議案質疑、委員会付託
- 11日 常任委員会審査
- 12日～14日 一般質問
- 15日 一般質問(予備日)
- 19日 各常任委員会
委員長報告、討論、表決

※日程は、変更することがあります。

本会議を 中継しています



©Team Beppyon

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

放送日時

本会議開催日(午前10時から)

放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

放送メディア

ケーブルテレビでの中継

CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

インターネットでの中継

別府市議会ホームページ

<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

にアクセスしてお入りください。(また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。)

※議会中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



編集後記



今年の夏は、記録的な猛暑続きでしたが、少しずつ朝晩が冷える時期となつてまいりました。皆さまにおかれましては体調管理に十分気をつけてください。

さて、9月定例会では、子ども医療助成の対象を高校生等に拡大すること、楠銀天街のアーケード撤去費等の補正予算や条例の一部改正だけでなく、令和4年度の決算について審議をさせていただきました。

特に、上人ヶ浜公園整備運営事業に関する請願については、6月定例会にて継続審査とした後、住民説明会も開催される中、市議会では、本定例会において慎重に審議を進めてまいりました。また、一議員としても公園の在り方について、深く考えさせられました。

議会とは、住民の方に代わり行政の執行状況を検証し、重要な方針を決定する機関です。これから市民の皆さまに寄り添い、市政に興味を持ってもらえるよう、親しみやすい議会を目指してまいります。

別府市議会広報広聴委員会

委員 小野 和美